

2-3. 山口地域

(1) 地域の特徴

山口地域は、本市の西部に位置し、地域の東側半分が都市計画区域、西側半分が都市計画区域外となっています。

土地利用の状況を見ると、九州自動車道の東側の市街化区域は主に住宅地として利用されています。また、広域交通の結節点となる筑紫野インターチェンジ周辺には流通業務施設が集積しています。さらに、JR 天拝山駅に近接して大型商業施設が立地し、九州自動車道西側には豊かな森林が広がり、集落が点在するとともに、市内で最も規模が大きい総合公園があることから、地域内に多くの買物客やレジャー客が来訪しています。

交通体系をみると、九州自動車道及び主要地方道久留米基山筑紫野線が市街地の南北方向を、一般県道基山停車場平等寺筑紫野線及び一般県道山口原田線が市街地と山間部の東西方向を結んでいます。

地域資源をみると、国の特別史跡である基肆（きい）城跡をはじめ、蛍やエヒメアヤマが生息する良好な自然環境などの資源を有しています。

平成 17 年及び平成 22 年の国勢調査の人口および世帯数の推移をみると、いずれも減少しています。一方で、高齢化率は約 8% 増加しており、市全体の高齢化率より約 10% 高い値（市全体の平成 22 年の高齢化率は 18.5%）となっています。

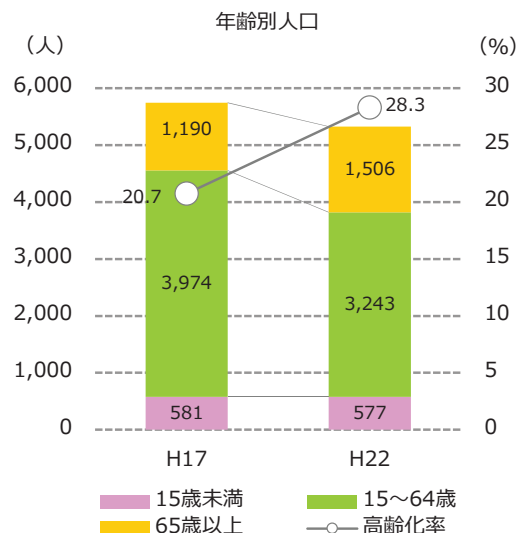
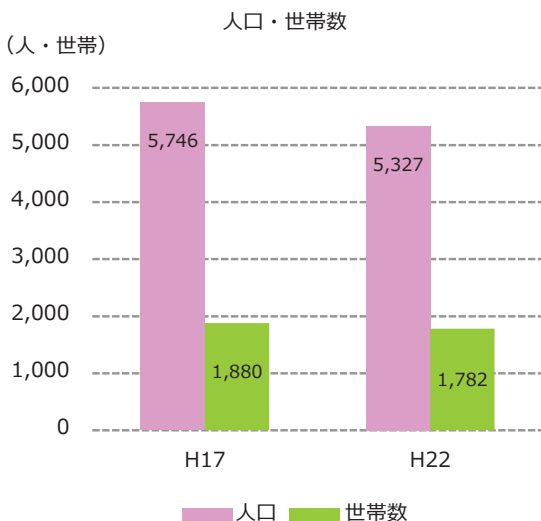
【参考】 住民基本台帳に基づく平成 27 年 9 月末時点の本地域の高齢化率は 36.4%



▲筑紫野インターチェンジ付近の流通業務施設



▲筑紫野市総合公園



(2) 地域の課題

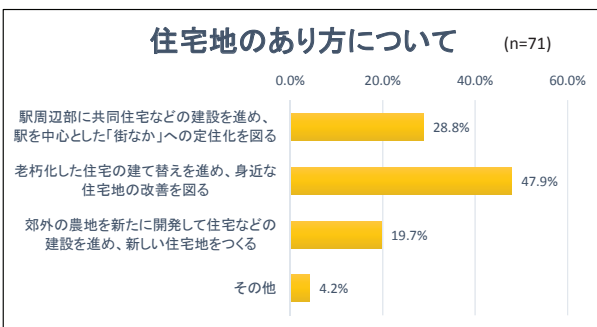
①土地利用

- ・ 筑紫野インターチェンジ周辺は、広域交通の利便性により、流通業務施設用地としての更なる産業の集積が求められます。
- ・ JR 天拝山駅周辺は、地域の活性化に寄与する大規模集客施設の維持が求められます。
- ・ JR 天拝山駅周辺の市街化調整区域については、駅に近接した利便性により、開発ポテンシャルが高いことから、計画的な土地利用が求められます。



▲JR 天拝山駅周辺の市街化調整区域

- ・ 九州自動車道西側では、高齢化に伴う農業集落の減退と農地の荒廃化が懸念されるため、対策が必要です。
- ・ むさしヶ丘団地は、施設の老朽化や住民の高齢化が懸念されます。



▲市民アンケート結果(山口地域回答)

- ・ 地域の西部の集落周辺は商業施設が少なく、買物が不便な状況です。

②交通体系

- ・ 一般県道基山停車場平等寺筑紫野線及び一般県道山口原田線は、道路幅員が狭い所もあり、交通安全対策が必要です。
- ・ 一般県道平等寺那珂川線は道路が狭く、離合が困難な場所があります。
- ・ 利便性の向上と安全性の確保を両立した、筑紫野インターチェンジと地域を直接結ぶ道路の整備が求められます。
- ・ JR 天拝山駅周辺は、交通事故・渋滞が発生しており、対策が必要です。
- ・ 高齢者の買物や通院等をはじめとした日常生活の交通利便性の向上が求められます。
- ・ 山間部の集落には、車が離合できない道路があるため、道路幅員の確保などの対策が求められます。

③都市及び自然環境形成、景観形成

- ・ 地域内には、蛍やエヒメアヤマメが生息する良好な自然環境を有しており、持続的な生息空間の確保が求められます。
- ・ サルやイノシシ等による農作物への被害や、山間部等でのごみの不法投棄など、自然環境の悪化が懸念されるため、その対策が必要です。



▲良好な河川環境

④その他の都市施設整備

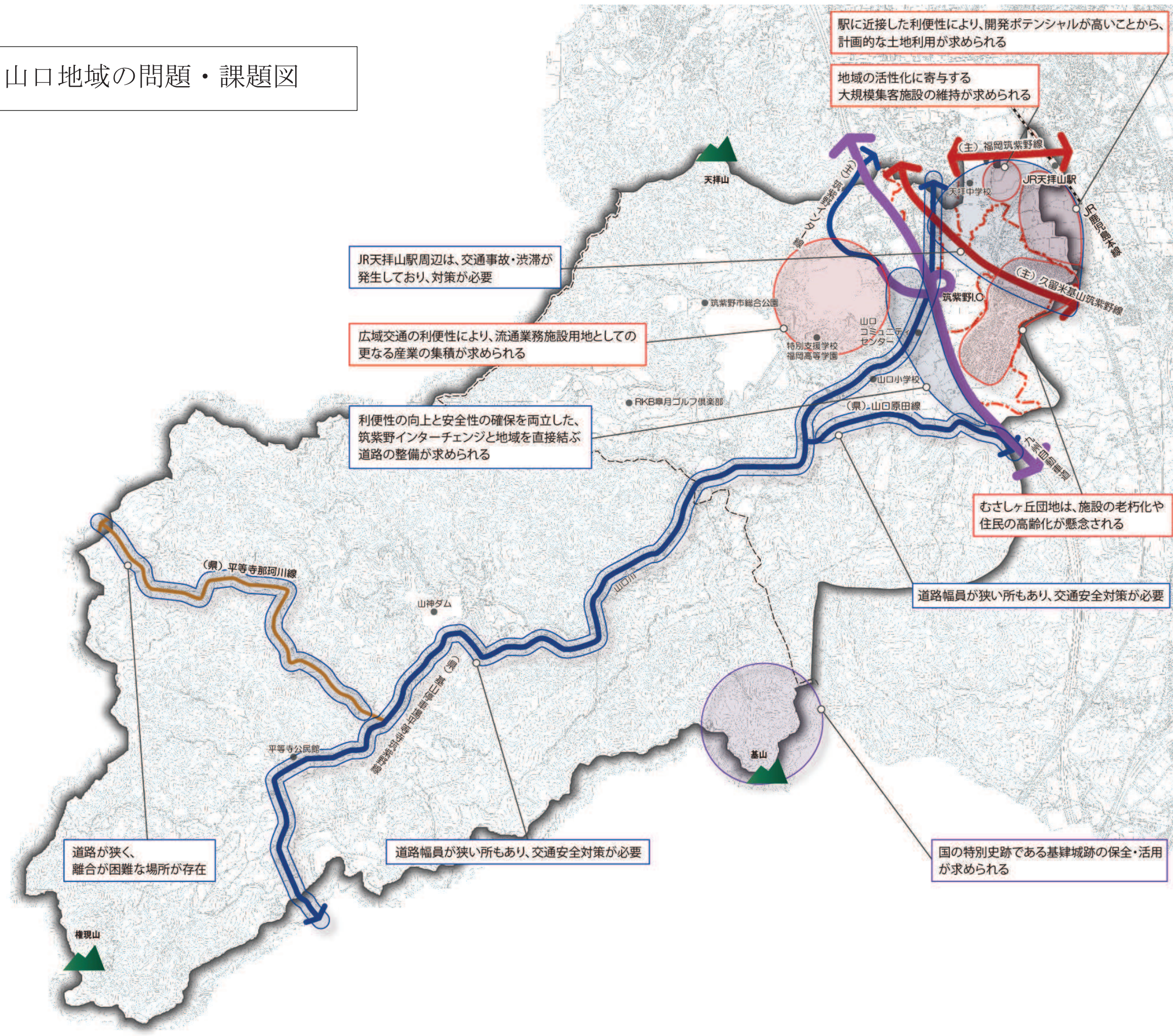
- 国の特別史跡である基肄（きい）城跡の保全・活用が求められます。
- 地域内の公園の充実が求められます。

⑤安全・安心なまちづくり

- 山口川周辺では、大雨等による水害、山間部では土砂災害が懸念されるため、防災対策が必要です。



山口地域の問題・課題図



凡例

○	土地利用に関する問題・課題
○	交通に関する問題・課題
○	環境・景観に関する問題・課題
○	都市施設に関する問題・課題
○	防災・福祉に関する問題・課題
⇄	高速道路
⇄	有料道路
⇄	主要幹線道路
- - -	主要幹線道路未整備区間
⇄	幹線道路
- - -	幹線道路未整備区間
⇄	補助幹線道路
- - -	補助幹線道路未整備区間
- - - -	鉄道（JR）
+ + + +	鉄道（西鉄）
- - - -	市街化区域界
- - - -	都市計画区域界
—	地域区分界



(3) まちづくりのテーマ

地域の特性や現況、地域別懇談会の意見などを勘案し、山口地域のまちづくりのテーマを以下のように設定します。

まちづくりのテーマ

インターチェンジの利便性と自然環境が調和し、
モノと人が行き交うまちづくり

まちづくりの方向性

①広域道路網を活かした産業活動が活発な地域

広域道路網の玄関口である筑紫野インターチェンジのポテンシャルを活かし、インターチェンジ周辺を中心とした産業活動が活発な地域を目指します。

②豊かな自然環境のなかで暮らしが営まれる地域

山林や田畑などの自然環境の適切な保全、生活利便性の向上を図ることにより、豊かな自然環境のなかで暮らしが営まれる地域を目指します。

(4) 地域のまちづくり方針

①土地利用

- ・ 筑紫野インターチェンジを活用し、大規模な流通業務施設用地として、周辺自然環境に配慮した土地利用を推進します。また、必要に応じ、公共公益施設の整備を検討します。
- ・ JR 天拝山駅周辺の市街化調整区域については、農業施策等との調整を図りつつ、駅の交通利便性を活かした市街地の形成を検討します。
- ・ 九州自動車道西側の農業集落対策の推進と既存優良農地の積極的な保全を図ります。
- ・ 今後の高齢化を見据えた計画的な住宅地の形成を検討します。
- ・ 地域の西部の集落周辺には、商業施設が少ないため、買い物弱者対策を検討します。

②交通体系

- ・ 一般県道基山停車場平等寺筑紫野線の道路幅員が狭い所については、道路拡幅、歩行空間の整備等の交通安全対策を促進します。
- ・ 一般県道山口原田線は、歩行者の安全確保及び筑紫地域との関連強化路線として拡幅整備等を促進します。
- ・ 一般県道平等寺那珂川線は、現道の部分的な拡幅整備や離合場所の整備を促進します。
- ・ 筑紫野インターチェンジと地域を直接結ぶ道路は、交通安全に配慮した整備を推進します。
- ・ JR 天拝山駅周辺の交通事故・渋滞対策を検討します。

- 天拝山へ快適に散策できる歩行空間の維持管理と利用促進を図ります。
- 公共交通機関の利用を促進し、集落と病院や買物施設等を結ぶコミュニティバス等を含む新たな交通手段の必要性を検討します。
- 道路幅員が狭い地区については、建築主等の協力による道路用地の確保、地域によるまちづくりのルールづくりを促進し、必要な道路幅員の確保を図ります。

③都市及び自然環境形成、景観形成

- 植物や生物の生態系にも配慮した自然環境の保全を推進します。

④その他の都市施設整備

- 基肆（きい）城跡の保全・活用を検討します。
- 住民がより快適に過ごすことのできる公園づくりを検討します。

⑤安全・安心なまちづくり

- 水害や土砂災害等の対策を推進し、自主防災組織と連携を図り、危険箇所等の周知や情報伝達手段の構築を検討します。

山口地域のまちづくり方針図

現道の部分的な拡幅整備や
離合場所の整備を促進

JR天拝山駅周辺の交通事故・渋滞対策を検討

筑紫野インターチェンジと地域を直接結ぶ
道路については、交通安全に配慮した
整備を推進

筑紫野インターチェンジを活用し、
大規模な流通業務施設用地として、
周辺自然環境に配慮した土地利用を推進
必要に応じ、公共施設整備を検討

道路幅員が狭い所については、
道路拡幅、歩行空間の整備等の交通安全対策を促進

JR天拝山駅周辺は、地域の活性化に寄与する
大規模商業施設の維持及び機能拡充を図る
農業施策等との調整を図りつつ、
JR天拝山駅の交通利便性を活かした市街地の形成を検討

二日市地域参照

筑紫地域参照

今後の高齢化を見据えた
計画的な住宅地の形成を検討

歩行者の安全確保及び筑紫地域との
関連強化路線として拡幅整備等を促進

基肄城跡の保全・活用を検討

凡例	
	土地利用に関する方針
	交通に関する方針
	環境・景観に関する方針
	都市施設に関する方針
	防災・福祉に関する方針
	住宅地
	商業地
	沿道商業サービス地
	工業・業務地
	農村集落地
	農地
	緑地
	河川・池・沼等
	都市公園
	計画的な土地利用を推進する区域
	高速道路
	有料道路
	主要幹線道路
	主要幹線道路未整備区間
	幹線道路
	幹線道路未整備区間
	補助幹線道路
	補助幹線道路未整備区間
	鉄道（JR）
	鉄道（西鉄）
	市街化区域界
	都市計画区域界
	地域区分界

